

“雪国”対応

カナメ（宇都宮市、吉原正博社長、028・660・3831）は、一般的なパ

ネルより約3割多く発電できる“雪国”対応の屋根一体型太陽電池パネル「スノーソーラーイメージ」を1日に発売する。消費税抜きのシステム価格は、出力1キロワットあたり25万円から。工務店や施工業者などに販

カナメが屋根一体型

太陽電池パネル

積雪する地域は雪でパネルが隠れてしまったり、霜や降雪で日照量が少なくなったりするなど課題がある。スノーソーラーはパネ



積雪する地域は雪でパネルが隠れてしまったり、霜や降雪で日照量が少なくなったりするなど課題がある。スノーソーラーはパネル同士や屋根との隙間を減らし、雪を滑り落ちやすくした。雪が積もる時間を最小限にすることで、高い発電量を持つ。

サイズは1022ミリ×1676ミリで、重量は約26キロ。最大出力は285ワット。

（宇都宮）